
ひぐらのなく頃に...変動編

叶音*

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ひぐらのなく頃に…変動編

【Nコード】

N4920Y

【作者名】

叶音*

【あらすじ】

鷹野に敗北し、同じ世界を繰り返す事になった古手梨花。昭和58年の雛見沢は、いつも通りかと思われた。

しかし！

「トラップの名人が富竹？」

「口先の魔術師が魅音？」

「美人双子が北条兄妹？」

「かぁいい物好きが知恵？」

「私の宿敵がレナ！？」

この難見沢、なんか変です。

日常<変常

「また…やり直し。」

鷹野に敗北し、新しい雛見沢で目覚めた。

どうやっても打ち破れない惨劇に、私は疲れ果てていた。

どうせ昭和58年の6月は、いつも通りの異常気象である。

私、古手梨花は重いランドセルを背負い、学校へと向かっていた。
見慣れ過ぎた学校。

走り回る生徒。

いずれは消えてしまう、小さすぎる存在だ。

廊下を歩き、入り乱れる子供達と共に教室へ入ろうとした。

その時である。

隣を、見覚えのある人物が走り抜けていった。

富竹だ。

しかし、いつもの富竹と違う。

小さすぎるのだ。

私と同じぐらいの身長で、ランドセルを振り回している。

何より、どうして沙都子の制服を着ているのだろう。

私が富竹を凝視していると、気が付いたのかこっちに近づいてこう
言った。

「あつ…梨花ちゃん、遅いじゃないか。まったく、そんなのじゃ小
学生はやっていけないぞ？ちなみに、今日の晩御飯はハヤシライス
にするから、学校が終わったら一緒に興宮に行こう。」

「…は？」

私は状況を把握出来ないまま、自分の席に着いた。

すると、教室の扉から悲鳴が聞こえた。

「うわぁっー!？」

何事かと思い、私は悲鳴が聞こえた扉に駆け寄った。

「あいたた…富竹、今日のトラップはキツくない？おじさん、肘擦

りむいちゃったよ…。」

「魅音！…じゃなくて圭一？…いや、魅音？」

目の前にいたのは、圭一の格好をした魅音だった。

「あははっ、引っかったね！保健室で己の未熟さを思い知るんだあ！」

分かった事が1つだけあった。

この雛見沢は、おかしい。

理性<現実

「一体どうなってるのよ…。」

思わず倒れかけた時、誰かが私の身体を支えてくれた。

振り向くと、そこには青いセーラー服を着た知恵がいた。

「あらあら古手さん、昨日はちゃんと寝ましたか？」

「梨花、大丈夫ですよ？」

「保健室に行く？」

新たに現れたのは、園崎姉妹の服装をした北条兄妹だった。

沙都子は魅音の服を着ており、悟史は詩音の服を着ていた。

「い、いや…大丈夫なですよ。あはっ、あははあ…。」

私が上手く笑えずにいと、後ろの方から滑るような音がした。

「クスクス…なんとか間に合ったようね。スライディングは偉大だわ…クスッ。」

私は振り返るのを拒んだ。

おそらく、鷹野が悟史の服装でスライディングして来たのだろう。

溜息をつきながら机に向かい、ふと教卓を見た。

そこには、知恵がいた。

正しくは、知恵の服を着た大石がいた。

「んっふっふ。皆さん、席に着いて下さいねえ。」

私はア然としていただろう。

ワンピース姿の富竹。

シャツにズボンの魅音。

セーラー服を着た知恵。

ロンスカの沙都子。

ミニスカの悟史。

スライディングをする鷹野。

そして、カレーよりも麻雀を愛する教師の大石。
なんじゃこりゃ。

「ねえ羽入！羽入！！」

「あうあう…梨花、この雛見沢はおかしいのです。」

「それは分かってるわよ！」

「お、怒らないでほしいのです…。あれ？そういえば、レナとか詩音とかがいらないのです。」

「あら？…そういえばそうね。圭一と鷹野もいないわね。」

「んふふ、古手さん、独り言が大きいですよ？」

「あっ！？ご…ごめんなさいなのです。」

私は机を見つめ、圭一達を探すことにしたのだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4920y/>

ひぐらのなく頃に...変動編

2011年11月17日19時28分発行